

ApeosWare Management Suite 2

機能ガイド

On Demand Print Terminal 編

- ①このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ②このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ③このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

「マニュアルと付属ツールについて」、「本書の表記」、および商標については、『セットアップガイド』を参照してください。

富士フイルムビジネスイノベーションに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-27-4100

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9～12 時、13～17 時

フリーダイヤルは、海外からはご利用になれません。また、一部の IP 電話からはつながないことがあります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

インターネットホームページで商品情報を提供しています。

アクセス先は、https://www.fujifilm.com/fb/product/software/aw_manage_suite です。

もくじ

もくじ	2
-----------	---

1 On Demand Print Terminal の機能

On Demand Print Terminal の機能	4
On Demand Print Terminal とオンデマンドプリント端末	4
システムの構成	4
主な機能	5
課金装置の接続構成と課金処理	7
操作権限	9
操作権限の種類	9
操作権限と使用できる機能	10

2 セットアップ

必要な環境	11
動作環境	11
接続できる装置	12
インストール	12
事前準備	12
On Demand Print Terminal をインストールする	13
画面に表示される画像を変更する	14
ポートを例外登録する	15
オンデマンドプリント端末に IC カードリーダー / ライターを接続する	16
課金装置を接続する	16
認証装置を接続する	16

3 On Demand Print Terminal の設定

設定の前に	20
ApeosWare Management Suite の設定をする	20
機器を設定する	21
On Demand Print Terminal の設定	21
管理者メニュー画面を表示する	21
管理者メニューの設定項目	22

4 On Demand Print Terminal の操作

On Demand Print Terminal にログインする	26
各機能の説明	26

オンデマンドプリント	26
USB メモリープリント	29
USB メモリースキャン	30

5 注意と制限

注意と制限	31
On Demand Print Terminal の注意と制限	31
USB メモリープリント /USB メモリースキャンの注意と制限	32

1 On Demand Print Terminal の機能

On Demand Print Terminal の機能

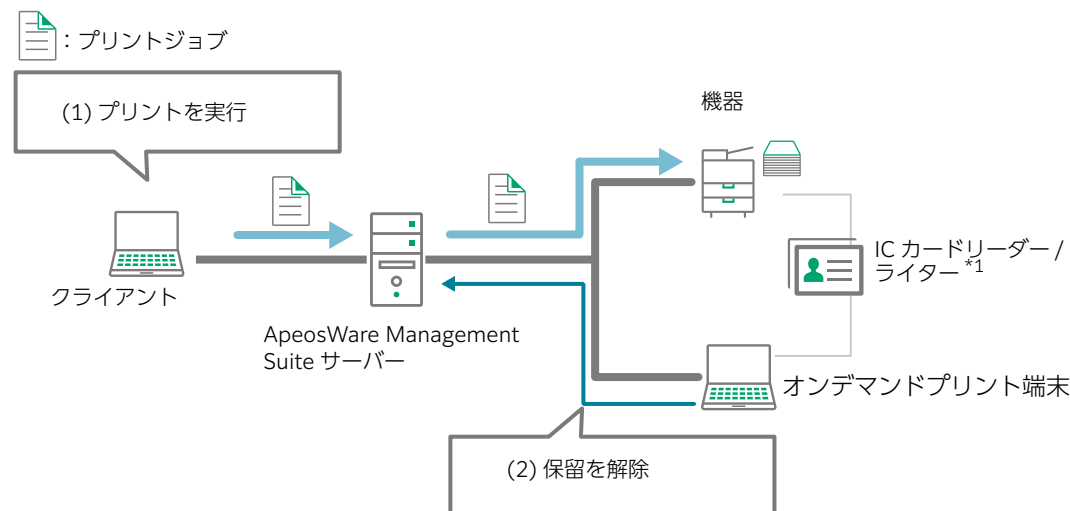
On Demand Print Terminal とオンデマンドプリント端末

On Demand Print Terminal とは、ApeosWare Management Suite のオプションソフトウェアです。ApeosWare Management Suite サーバーとは別の PC にインストールして使用します。機器と On Demand Print Terminal をインストールした PC を、ネットワークを介して接続すると、ApeosWare Management Suite サーバーに蓄積されたプリントジョブの一覧を表示して、プリントを実行できます。設定によっては、USB メモリー内のファイルをプリントしたり、機器でスキャンした文書を USB メモリーに保存したりできます。

On Demand Print Terminal をインストールした PC を、「オンデマンドプリント端末」と呼びます。オンデマンドプリント端末は、機器と 1 対 1 で接続して使用します。

システムの構成

オンデマンドプリント端末のシステムの構成は、次のとおりです。



*1 オンデマンドプリント端末と機器の両方に接続した場合の例です。

オンデマンドプリント端末

On Demand Print Terminal をインストールした PC です。ApeosWare Management Suite サーバーで保留されているプリントジョブを取得して表示します。ユーザーはオンデマンドプリント端末でプリントを実行したり、プリントの設定を変更したりできます。

ApeosWare Management Suite サーバー

ApeosWare Management Suite をインストールしたサーバーです。複数のサーバーで構成される場合もあります。

ユーザーが実行したプリントジョブをいったん保留し、On Demand Print Terminal からの指示で機器に送信します。

機器

ApeosWare Management Suite が管理する複合機やプリンターです。
オンデマンドプリント端末と 1 対 1 で接続します。

IC カードリーダー / ライター

機器やオンデマンドプリント端末に接続して、IC カードで認証したり、処理の料金を徴収したりします。
オンデマンドプリント端末、機器、またはその両方に接続できます。接続構成によって、課金処理の方法が異なります。



参照

「課金装置の接続構成と課金処理」(P.7)

クライアント

ApeosWare Management Suite の論理プリンターを利用して、PC やモバイル端末からオンデマンドプリントを実行します。プリントモードが [オンデマンド]、または、[オンデマンド - 非課金] の論理プリンターを選択すると、オンデマンドプリントを実行できます。



補足

プリントモードが [オンデマンド] の場合は、ApeosWare Management Suite のコスト管理の設定に従って、プリントジョブに課金されます。[オンデマンド - 非課金] の場合は、コスト管理の設定にかかわらず課金されません。

主な機能

オンデマンドプリント端末を使ってできることを説明します。

オンデマンドプリント

ApeosWare Management Suite を使ってオンデマンドプリントを実行したあと、機器と接続されたオンデマンドプリント端末にログインすると、ログインユーザーが実行したプリントジョブの一覧が表示されます。ログインユーザーが複数のユーザー ID を持つ場合は、すべてのユーザー ID で送信したプリントジョブが対象です。また、ログインユーザーが「委任ユーザー」に設定されている場合は、代行できるプリントジョブも表示されます。

プリントジョブの一覧では、プリントを実行するだけでなく、プリントの設定を変更したり、プリントジョブの詳細を確認したりできます。

ApeosWare Management Suite のコスト管理機能を利用している場合、かつ、プリントモードが [オンデマンド] の論理プリンターを使ってプリントした場合、プリントにかかる料金や、使用できる残高を、プリントジョブの一覧で確認できます。

認証機能や課金機能を持つ IC カードリーダー / ライターをオンデマンドプリント端末に接続すると、IC カードでオンデマンドプリント端末にログインしたり、料金を支払ったりできます。

USB メモリープリント / USB メモリースキャン

オンデマンドプリント端末に接続された USB メモリー内のファイルをプリントしたり、機器でスキャンした文書を USB メモリーに保存したりできます。

USB メモリープリントでは、オンデマンドプリントと同様に、プリントするファイルの一覧でプリントの属性を確認 / 変更したり、プリントにかかる料金を確認したりできます。

プリント、またはスキャンデータを出力できるファイル形式は、次のとおりです。

○：プリント、またはスキャンできます

-：プリント、またはスキャンできません

ファイル形式	拡張子	プリント	スキャン	備考
PDF	.pdf	○ ^{*1}	○	対応バージョンは、1.0、1.1、1.3、1.4、1.5、1.6、または 1.7 です。ただし、次の機能は使用できません。 ・ JPEG2000 圧縮 ・ オプショナルコンテンツ ・ 3D アートワーク ・ オブジェクトストリーム/クロスリファレンスストリーム ・ DeviceN カラースペースの拡張 ・ AES-256 暗号
TIFF	.tif .tiff	○	○	次の形式の TIFF ファイルはサポートしていません。 ・ 面順次画像（プレーンオーダー画像） ・ タイリング画像（タイル分割画像） ・ 圧縮形式が LZW 圧縮画像のファイル（非圧縮 /CCITT1D/ G3Fax/G4Fax/PackBits/JPEG 以外のもの） ・ ビッグエンディアンのビット配列の 16 ビット PackBits 圧縮のファイル ・ サブサンプリングされた PackBits 圧縮のファイル ・ アルファチャンネルありのファイル
JPEG	.jpg .jpeg	○	○	次の形式の JPEG ファイルはサポートしていません。 ・ 符号化なし 8bit でチャンネル数が 4 のファイル ・ ベースラインシーケンシャル方式以外で符号化されたファイル
XPS ^{*2}	.xps	○	○	-
DocuWorks	.xdw	-	○	-
Microsoft® Word ^{*3}	.doc .docx	○	-	用紙の向き、および改ページは文書に依存します。
Microsoft® Excel ^{*3}	.xls .xlsx	○	-	用紙の向き、および改ページは文書に依存します。 複数のシートがある場合、すべてのシートがプリントされます。
Microsoft® PowerPoint ^{*3}	.ppt .pptx	○	-	用紙の向き、および改ページは文書に依存します。

*1 パスワードが設定されている場合や、印刷が制限されている場合は、プリントできません。

*2 XPS とは、「XML Paper Specification」の略です。

*3 オンデマンドプリント端末に該当の Microsoft Office 製品がインストールされている必要があります。

プリント処理、スキャン処理の料金管理

ApeosWare Management Suite のコスト管理機能を利用している場合、オンデマンドプリント、USB メモリープリント、および USB メモリースキャンにかかる料金を管理できます。

プリント処理の料金は、カラーモード、両面/片面などのプリントの属性に応じて、ApeosWare Management Suite の料金体系に従って計算されます。処理にかかる予測料金を、オンデマンドプリント端末に表示されるプリントジョブの一覧で確認できます。

スキャン処理の料金も、ApeosWare Management Suite のコスト管理の設定に従って課金されます。

料金は、ユーザーに設定されているアカウントや、IC カードから徴収されます。



- ・表示される料金は予測値です。実際の料金とは異なる場合があります。
- ・コスト管理機能を利用している、論理プリンターのプリントモードが「オンデマンド - 非課金」の場合や、プリントの料金が 0（ゼロ）に設定されている場合は、料金は徴収されません。

課金装置の接続構成と課金処理

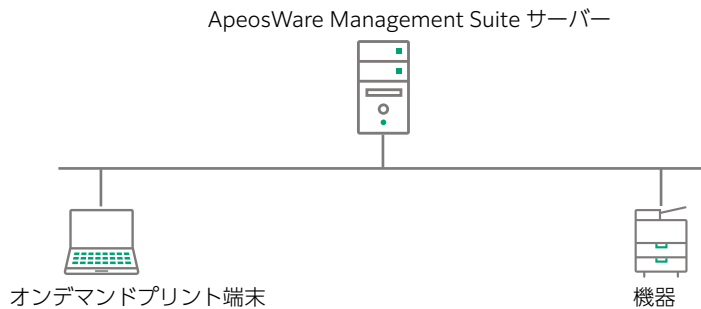
プリントするジョブが料金管理の対象の場合、オンデマンドプリント端末、機器、および課金装置として使用する IC カードリーダー / ライターの接続構成によって、利用できる機能が異なります。



参照

アカウントの残高によるプリントの制御や、処理料金の単価などは、ApeosWare Management Suite のコスト管理の設定に従います。コスト管理の詳細については、『機能ガイド』の「5 コスト管理」を参照してください。

課金装置なし



課金装置を使用しない構成です。

ApeosWare Management Suite のコスト管理の設定に従って料金を計算し、ユーザーのアカウントに課金したり、アカウントの残高でプリントを制御したりします。

ログインユーザーに複数のアカウントが設定されている場合は、使用するアカウントをオンデマンドプリント端末で選択できます。

オンデマンドプリント端末には、プリントの予測料金と使用するアカウントの残高が表示されます。

USB メモリープリントにも課金できます。



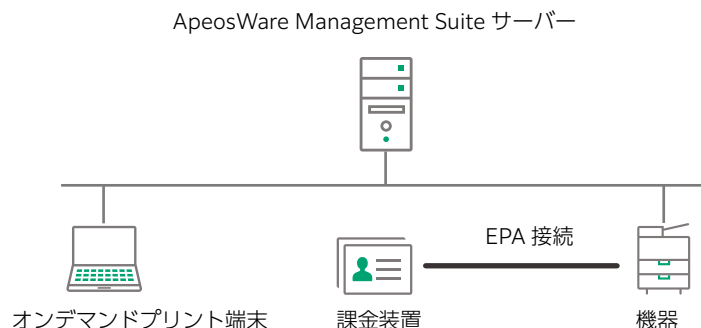
補足

次の場合は、アカウントの変更や、オンデマンドプリント端末での料金や残高の確認はできません。

- ・アクセスプロファイルの「残高下限到達時の強制停止」が停止しない設定になっているユーザー
- ・ログインユーザーが委任ユーザー

また、プリント処理の予測料金の合計に、上記のユーザーが実行したプリントの金額は含まれません。

課金装置と機器を接続する構成



課金装置を機器とだけ接続して、オンデマンドプリント端末とは接続しない構成です。

プリント後に機器側で課金処理を行います。料金の計算は、コスト管理の設定に従います。プリントを事前に制御することはできません。

料金は、課金装置で徴収されます。

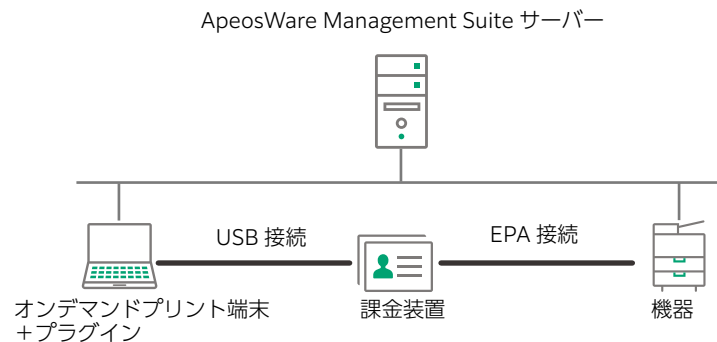
オンデマンドプリント端末には、プリントの予測料金が表示されます。

USB メモリープリントにも課金できます。



- ・ オンデマンドプリント端末には、プリントの予測料金が表示されます。実際の料金と異なる場合があります。
- ・ この構成では、オンデマンドプリント端末で課金対象のプリントジョブだけをプリントできます。課金対象ではないプリントジョブは、プリントできないジョブとして扱われます。

課金装置を接続して機器側で課金する構成



課金装置をオンデマンドプリント端末、および機器の両方と接続する構成です。

課金装置には、ApeosWare Management Suite の料金情報が設定されます。

プリント後に機器側で課金処理を行います。

オンデマンドプリント端末も課金装置と接続されているので、IC カードの残高とプリントの予測料金が表示されます。

また、オンデマンドプリント端末側で、プリント属性の予測値を使って料金を計算し、課金装置に認識させた IC カードの残高が足りない場合はプリントしないように制御できます。

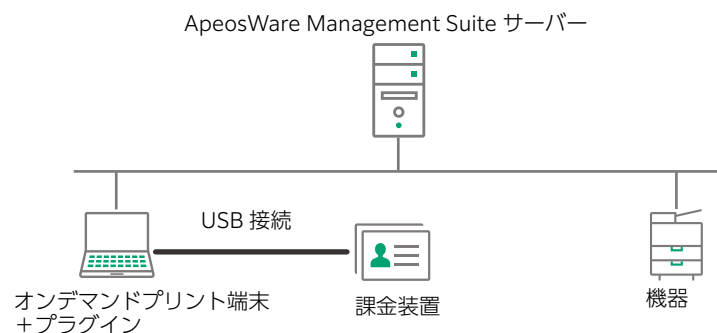
課金装置が認証機能を持つ場合は、IC カードでオンデマンドプリント端末にログインできます。

USB メモリープリントにも課金できます。



この構成では、オンデマンドプリント端末で課金対象のプリントジョブだけをプリントできます。課金対象ではないプリントジョブは、プリントできないジョブとして扱われます。

課金装置を接続して端末側で課金する構成



課金装置をオンデマンドプリント端末とだけ接続する構成です。

課金装置には、ApeosWare Management Suite の料金情報が設定されます。

プリント後に、オンデマンドプリント端末が機器にプリント情報を問い合わせ、実際にプリントされた面数分を課金します。

オンデマンドプリント端末には、プリントの予測料金と次のどれかの残高が表示されます。

- 使用するアカウントの残高が 0 より大きい場合
アカウントの残高の合計が表示されます。
- 使用するアカウントの残高が 0 以下の場合
IC カードの残高が表示されます。この場合は、アカウントの残高と IC カードの残高の内訳を確認できます。
- アカウントが指定されていない場合
残高は表示されないで、「-」が表示されます。

料金は、ログインユーザーのアカウントから徴収され、アカウントの残高が不足している場合は課金装置に認識させた IC カードから徴収されます。

プリント属性の予測値で料金を計算し、アカウントの残高+課金装置に認識させた IC カードの残高が足りない場合はプリントしないように制御できます。また、ログインユーザーの未払い残高を、IC カードで支払うことができます。

課金装置が認証機能を持つ場合は、IC カードでオンデマンドプリント端末にログインできます。

この構成の場合、オンデマンドプリント端末で USB メモリープリントの課金処理はできません。



補足

- ・ 課金装置を接続する USB ケーブルが抜けていると、オンデマンドプリント端末を操作できません。USB ケーブルが抜けないように設置してください。
- ・ 予測値で計算した料金と、実際のプリント結果の料金が異なる場合があります。ApeosWare Management Suite サーバーの【コスト管理】>【設定】>【料金計算方式】で、実績値で課金するか予測値と実績値の小さい方の値で課金するかを設定できます。

操作権限

On Demand Print Terminal の操作権限と、使用できる機能について説明します。

操作権限の種類

On Demand Print Terminal には、次の操作権限があります。

- オンデマンドプリント端末のローカル管理者

On Demand Print Terminal に初期設定されている専用の管理者です。オンデマンドプリント端末を使用するための設定を変更できます。管理者名とパスワードは、オンデマンドプリント端末で変更できます。初期設定で、次の 2 つが登録されています。

管理者名	パスワード
PMAdmin1	PMAdmin1
PMAdmin2	PMAdmin2



補足

- ・ セキュリティ保護のため、運用を開始する前に必ずローカル管理者のパスワードを変更してください。また、定期的にパスワードを変更することをお勧めします。
- ・ オンデマンドプリント端末のローカル管理者のパスワードを、「アクセスコード」と呼びます。On Demand Print Terminal のエラーダイアログボックスでアクセスコードの入力を要求された場合は、このパスワードを入力してください。

- システム管理者

ApeosWare Management Suite と共通のシステム管理権限です。

オンデマンドプリント端末を使用するための設定を変更できます。

- オンデマンドプリント端末の管理

オンデマンドプリント端末で、プリントモードを一時的に切り替えることができます。



管理者権限を持たないユーザーに、[直接非課金印刷の一時利用] を実行させる場合に設定します。

- ユーザー

管理者の権限を持たない一般ユーザーです。

オンデマンドプリント端末のプリントジョブ一覧で、ジョブを選択してプリントできます。

オンデマンドプリント端末のローカル管理者以外は、ApeosWare Management Suite のユーザー管理で作成、および設定します。

操作権限と使用できる機能

オンデマンドプリント端末のローカル管理者、システム管理者、およびオンデマンドプリント端末の管理権限を持つユーザーは、On Demand Print Terminal の管理者メニューにアクセスできます。

使用できる機能は、次のとおりです。

○：使用できます

-：使用できません

メニュー	システム管理者	オンデマンドプリント 端末の管理	ローカル管理者
共通設定	○	-	○
オンデマンドプリント設定	○	-	○
直接非課金印刷の一時利用	○	○	○
USB プリント設定	○	-	○
USB スキャン設定	○	-	○
管理者名 / パスワードの変更	-	-	○
On Demand Print Terminal の終了	○	-	○
Windows シャットダウン	○	-	○

2 セットアップ

必要な環境

オンデマンドプリント端末として利用する PC の要件と、接続できる装置について説明します。

動作環境

On Demand Print Terminal を使用するために必要な動作環境の最新の情報については、弊社公式サイトをご覧ください。

接続できる装置

オンデマンドプリント端末に接続できる IC カードリーダー / ライターは次のとおりです。

○：できます

-：できません

IC カードリーダー		課金	認証	説明
富士フイルムビジネスイノベーション社製				
	IC Card Cashier v2.0.0 以降 (ICCC)	○	○	IC カードにチャージされた電子マネーで、課金決済ができます。IC カードを使用して、オンデマンドプリント端末にログインすることもできます。
	Connection Box 1 for EM (USB-IF バージョン 1.1 以降)	○	-	IC カードにチャージされた交通系電子マネーで、課金決済ができます。
	e-MoneyCashier 2	○	-	楽天 Edy の機能が付加されたカード、または楽天 Edy アプリがインストールされた携帯電話にチャージされた電子マネーで、課金決済ができます。
ソニー社製				
	PaSoRi (パソリ)	-	○	非接触 IC カードリーダー / ライターです。FeliCa 対応の IC カードを使用して、オンデマンドプリント端末にログインできます。

各装置の詳細や、必要な設定については、それぞれのマニュアルを参照してください。

インストール

事前準備

ライセンスを認証する

ApeosWare Management Suite のメインサーバーで、On Demand Print Terminal のライセンスを認証します。



参照

『セットアップガイド』の「ライセンス認証」

コスト管理を有効にする

ApeosWare Management Suite を、コスト管理機能を使用できるように設定します。



参照

『セットアップガイド』

オンデマンドプリント端末を設定する



補足

オンデマンドプリント端末の設定は、On Demand Print Terminal をインストールしたあとでも実施できます。

機器の認証モードの設定

機器の認証モードを「認証しない」に設定します。

USB メモリースキャン用ユーザーの設定

USB メモリースキャンを利用する場合は、機器からオンデマンドプリント端末にログインするときに使用するユーザーを、オンデマンドプリント端末の Users グループに登録します。

Microsoft Office 製品のインストール

USB メモリープリントで、Microsoft Office で作成した文書をプリントする場合は、Microsoft Office の該当製品をオンデマンドプリント端末にインストールします。対応バージョンは、次のとおりです。

- Microsoft Office 2013 (32 ビット版 / 64 ビット版)
- Microsoft Office 2016 (32 ビット版 / 64 ビット版)

また、機器のプリンタードライバをインストールして、通常使うプリンターに設定します。

時刻の設定

オンデマンドプリント端末の時刻を ApeosWare Management Suite のメインサーバーと同じ時刻に設定します。

IC カードリーダー / ライターを準備する

課金や認証に IC カードを使用する場合は、課金または認証機能を持つ IC カードリーダー / ライターを準備して、オンデマンドプリント端末に接続します。

「課金装置の接続構成と課金処理」(P.7)、および「接続できる装置」(P.12) を参照してください。

On Demand Print Terminal をインストールする

1. Administrators グループに属するユーザーで、PC にログオンします。
2. ApeosWare Management Suite のインストール DVD-ROM (Disc-1) を DVD ドライブに挿入します。
3. 言語を選択するウィンドウが表示された場合は選択して、[OK] をクリックします。
4. [ツール一覧] タブをクリックします。
5. [On Demand Print Terminal] をダブルクリックします。

以降は、画面の指示と次の説明に従って、インストールしてください。

- [オンデマンドプリント端末の管理者パスワードセキュリティレベルの指定]
オンデマンドプリント端末のローカル管理者パスワードのセキュリティレベルを選択します。詳細は、画面に表示される [説明] を参照してください。
- [選択可能な言語の設定]
On Demand Print Terminal の表示言語の選択肢とする言語を選択します。1 言語だけ選択した場合は、On Demand Print Terminal に言語の切り替えメニューが表示されません。
- [課金装置の設定]
「課金装置の接続構成と課金処理」(P.7) を参照して、利用したい機能に応じた課金装置の接続構成を、次の選択肢から選択します。
 - [課金装置を接続しない]
 - [課金装置を接続して機器側で課金する]
 - [課金装置を接続して端末側で課金する]

[課金装置を接続して機器側で課金する] または [課金装置を接続して端末側で課金する] を選択して [次へ] をクリックすると、[使用機器の設定] 画面が表示されます。

[課金装置を接続しない] を選択して [次へ] をクリックすると、[認証装置の設定] 画面が表示されます。

- [使用機器の設定]
課金処理で使用する機器を、次の選択肢から選択します。

- [IC Card Cashier]
- [Connection Box 1 for EM / e-MoneyCashier 2]

[次へ] をクリックすると、[認証装置の設定] 画面が表示されます。

- [認証装置の設定]

オンデマンドプリント端末に認証装置を接続して、IC カードでログインするかどうかを次の選択肢から選択します。

- [認証装置を接続しない]
- [IC Card Cashier を接続して IC カードで認証する]
- [PaSoRi を接続して IC カードで認証する]

[次へ] をクリックすると、[インストール内容確認] 画面が表示されます。[PaSoRi を接続して IC カードで認証する] を選択した場合は確認画面が表示され、[OK] をクリックすると、[インストール内容確認] 画面が表示されます。

設定内容を確認して、[インストール] をクリックすると、インストールが始まります。



補足

課金装置や認証装置を使用する場合、接続に必要なプラグインがオンデマンドプリント端末にインストールされます。

インストールが終了すると、[自動ログオンの設定] 画面が表示されます。

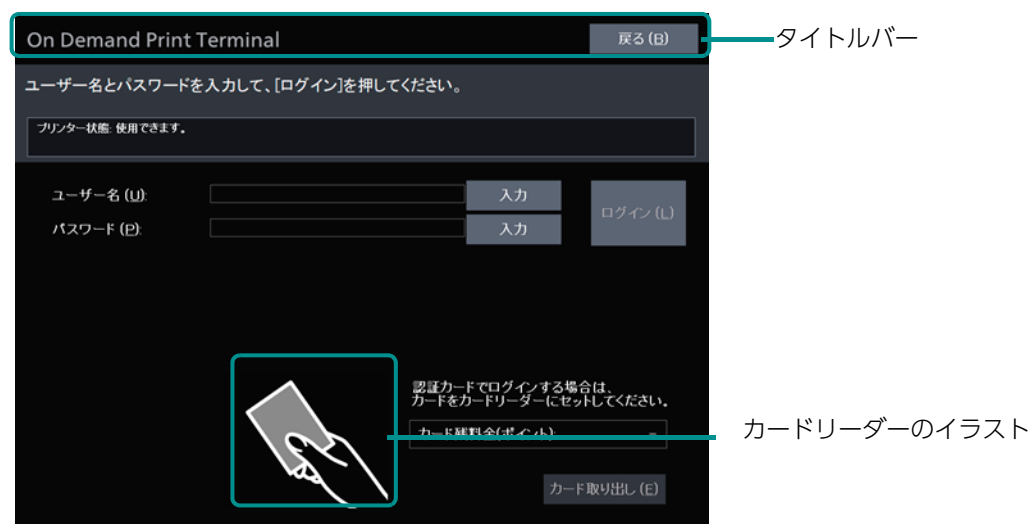
課金装置の接続構成と On Demand Print Terminal の [課金装置の設定]、[使用機器の設定] および [認証装置の設定] の組み合わせは次のようになります。

課金装置の接続構成	On Demand Print Terminal の設定 (選択肢)		
	[課金装置の設定]	[使用機器の設定]	[認証装置の設定]
課金装置なし	・ [課金装置を接続しない]	—	・ [認証装置を接続しない] ・ [IC Card Cashier を接続して IC カードで認証する] ・ [PaSoRi を接続して IC カードで認証する]
課金装置と機器を接続する構成	・ [課金装置を接続して機器側で課金する]	・ [IC Card Cashier] ・ [Connection Box 1 for EM / e-MoneyCashier 2]	・ [認証装置を接続しない] ・ [IC Card Cashier を接続して IC カードで認証する] ・ [PaSoRi を接続して IC カードで認証する]
課金装置を接続して機器側で課金する構成	・ [課金装置を接続して機器側で課金する]	・ [IC Card Cashier] ・ [Connection Box 1 for EM / e-MoneyCashier 2]	・ [認証装置を接続しない] ・ [IC Card Cashier を接続して IC カードで認証する] ・ [PaSoRi を接続して IC カードで認証する]
課金装置を接続して端末側で課金する構成	・ [課金装置を接続して端末側で課金する]	・ [IC Card Cashier] ・ [Connection Box 1 for EM / e-MoneyCashier 2]	・ [認証装置を接続しない] ・ [IC Card Cashier を接続して IC カードで認証する] ・ [PaSoRi を接続して IC カードで認証する]

画面に表示される画像を変更する

On Demand Print Terminal の画面に表示される画像を、任意の画像に変更できます。次の画像を変更できます。

- (1) トップメニューのタイトルバー
 - (2) [オンデマンドプリント] の画面のタイトルバー
 - (3) [USB メモリープリント] の画面のタイトルバー
 - (4) [USB メモリースキャン] の画面のタイトルバー
 - (5) オンデマンドプリント、または USB メモリープリントのログイン画面のカードリーダーのイラスト
- オンデマンドプリントのログイン画面を例に、タイトルバーとカードリーダーのイラストの位置を、次に示します。



画像を変更する場合は、次の形式の画像ファイルを、所定のフォルダーに格納してください。

項目	説明
サイズ	(1)、(2)、(3)、(4) : 1024×76 (5) : 240×200
画像フォーマット	PNG (Portable Network Graphics) 形式
格納フォルダー	インストール時に指定したユーザーデータ保存先フォルダーの下の「Data¥On Demand Print Terminal¥conf¥img」フォルダー  補足 {ユーザーデータ保存先フォルダー} は、初期設定を変更していない場合は、 「C:¥FUJIFILM¥ApeosWare MS」です。
ファイル名	(1) User_LogoTop.png (2) User_LogoOndemand.png (3) User_LogoUsbPrint.png (4) User_LogoUsbScan.png (5) CardLogin_Top.png

ポートを例外登録する

オンデマンドプリント端末では、ApeosWare Management Suite サーバー、および機器との通信に次のポートを使用します。お使いの環境に応じて、ポートを例外登録してください。

通信の方向	通信プロトコル	ポート	TCP/UDP
オンデマンドプリント端末 > ApeosWare Management Suite サーバー	HTTP	80, 8181	TCP
	HTTPS	443, 8183	TCP
	WebSocket	8800	TCP
ApeosWare Management Suite サーバー > オンデマンドプリント端末	WebSocket	8800	TCP

通信の方向	通信プロトコル	ポート	TCP/UDP
オンデマンドプリント端末＞機器	LPD	515	TCP
	SNMP	161	UDP
機器＞オンデマンドプリント端末	SMB	139	TCP
	CIFS	445	TCP UDP

オンデマンドプリント端末に IC カードリーダー / ライターを接続する

オンデマンドプリント端末に課金装置、または認証装置として使用する IC カードリーダー / ライターを接続する場合の設定について説明します。

課金装置を接続する

課金装置には、IC Card Cashier、Connection Box 1 for EM、または e-MoneyCashier 2 を使用できます。オンデマンドプリント端末、課金装置、機器の接続構成については、「課金装置の接続構成と課金処理」(P.7)を参照してください。

認証装置を接続する

認証装置には、IC Card Cashier、または PaSoRi を使用できます。

IC Card Cashier は課金装置としても使用できます。接続構成については、「課金装置の接続構成と課金処理」(P.7)を参照してください。

PaSoRi を使用する場合は、以降の設定をしてください。

PaSoRi を有効にする

オンデマンドプリント端末に PaSoRi を接続する場合、接続用の設定ファイルを編集して有効にする必要があります。

1. オンデマンドプリント端末と PaSoRi を USB ケーブルで接続します。
2. オンデマンドプリント端末に、お使いの機種に合わせた FeliCa ポートドライバーをインストールします。
3. オンデマンドプリント端末を起動するユーザーで Windows にログオンします。
4. テキストエディターを起動して PaSoRi 接続用の設定ファイルを開き、必要な情報を編集して上書き保存します。
文字コードは「UTF-8」、改行コードは「CRLF」で保存してください。



参照

「PaSoRi 接続用の設定ファイル」(P.17)

5. 必要に応じて、PaSoRi 接続用の設定ファイルを暗号化します。



参照

「設定ファイルを暗号化する」(P.19)

6. On Demand Print Terminal を起動します。
ログイン画面に、接続されている装置が表示されることを確認します。

PaSoRi 接続用の設定ファイル

PaSoRi 接続用の設定ファイルは、PaSoRi が動作するための情報が設定された、xml 形式のファイルです。
 {ユーザーデータ保存先フォルダー} 下の次のフォルダーにインストールされます。

フォルダー	ファイル名
Data¥On Demand Print Terminal¥plugins¥FeliCaPlugin	FeliCaPlugin.Settings.xml



{ユーザーデータ保存先フォルダー} は、初期設定を変更していない場合は、
 「C:¥FUJIFILM¥ApeosWare MS」です。

PaSoRi 接続用の設定ファイルは、お使いのカードのデータ読み取り種別や環境に合わせて、設定を変更した
 あと、有効にします。文字コードは、「UTF-8」、改行コードは「CRLF」を使用してください。

機密性の高い情報を設定する必要があるため、暗号化ツールを使用して dat ファイルに変換することをお勧めします。



「設定ファイルを暗号化する」(P.19)

設定ファイルの内容

親要素名	子要素名		説明	設定値
ModelNames	Value		接続機器モデル名	Windowsのデバイスマネージャー に表示されるPaSoRiのモデル名 ^{*1}
PollingInterval	-		FeliCa ポートを監視する間隔（ミ リ秒）	100 ～ 3000
BeepMode	-		カード読み込み時のビープ音の動 作	1：常に鳴らす 2：成功時だけ鳴らす 3：失敗時だけ鳴らす 上記以外：鳴らさない
ReadData Type= " {設定値} " ^{*2}	-		データ読み取り種別	IDM SSFC FCF FCFCampus ANY（任意のデータ）
	SystemCode	-	システムコード（必須）	0000 ～ FFFF
	ServiceCode	-	エリアのサービスコード （「ReadData Type="ANY"」の場 合は必須）	0000 ～ FFFF
	UseDataStart Address	-	読み取りデータの開始位置 （「ReadData Type="ANY"」の場 合は必須）	0 ～ 127
	UseDataLength	-	読み取りデータ長 （「ReadData Type="ANY"」の場 合は必須）	1 ～ 128
	CLCode	-	CL コード （「ReadData Type="SSFC"」 の場 合は必須）	10 文字の文字列
	SchoolIdCode ^{*3}	-	学校識別情報 （「ReadData Type="FCFCampus"」 の場合に設定可）	8 文字の文字列

親要素名	子要素名	説明	設定値
	BindingOrder ^{*4}	-	連結するデータ順 (「ReadData Type="SSFC"」、 「ReadData Type="FCFCampus"」の場合は必須)
		Value	連結するデータ (「ReadData Type="SSFC"」、 「ReadData Type="FCFCampus"」の場合は必須)
			次のどれかの値を設定できます。 大文字と小文字は区別されます。 ・ SSFC の場合 EmployeeId: 社員番号 CompanyCode: 会社コード IssueCount: 発行回数 ・ FCFCampus の場合 Id: ID 番号 IssueCount: 発行回数
	CheckedAccess Mode	-	アクセスモードをチェックするか どうか (「ReadData Type="SSFC"」の 場合は必須)
	CheckedExpirationDate	-	有効期限をチェックするか どうか (「ReadData Type="SSFC"」、 「ReadData Type="FCFCampus"」 の場合は必須)
UseProcessor Module	-	認証情報生成モジュール名  補足 「認証情報生成モジュール」 (P.18)	大文字と小文字は区別されま せん。

*1 テンプレートに記載されたデフォルトの値を書き換える必要はありません。

*2 1つの設定ファイルに、3つまで設定できます。

*3 <ReadData Type=FCFCampus> の子要素 <SchoolIdCode> を設定することで、学校識別情報を利用してカードの使用可否を確認できます。この確認を行わない場合は、設定値を次のように記述してください。
<SchoolIdCode></SchoolIdCode>

*4 データ読み取り種別が「SSFC」の場合、社員番号を1つ以上設定する必要があります。「FCFCampus」の場合は、ID番号を1つ以上設定する必要があります。

認証情報生成モジュール

PaSoRi 接続用の設定ファイルでは、IC カードから読み取ったデータを加工して認証情報を生成するモジュールを使用できます。認証情報生成モジュールは、PaSoRi 接続用の設定ファイルの「UseProcessorModule」でモジュール名を指定することで、プラグインに組み込まれます。

モジュール名	説明	加工の例
AsciiStringProcessor.dll	ASCII 文字列として読み込み、連結します。 ASCII コードの範囲外のコードや、制御文字コード (0x00 ~ 0x1f、0x7f) は無視されます。	[0x41 0x00 x042] → 「AB」 [0x43 0x00] → 「C」 上記を連結して、認証情報は「ABC」となります。
HexStringProcessor.dll	16進数のまま ASCII 文字列に変換し、連結します。	[0x41 0x42] → 「4142」 [0x43 0xFF] → 「43FF」 上記を連結して、認証情報は「414243FF」となります。

モジュール名	説明	加工の例
AsciiNumStringProcessor.dll	2 つのデータのうち、1 つを ASCII 文字列、1 つを 10 進数の ASCII 文字列に変換し、連結します。1 つめのデータの ASCII コードの範囲外のコードや、制御文字コード (0x00 ~ 0x1f, 0x7f) は無視されます。 また、3 つ以上のデータも無視されます。	[0x41 0x00 0x42] → 「AB」 [0x43 0xFF] → 「17407」 上記を連結して、認証情報は「AB17407」となります。

設定ファイルを暗号化する

セキュリティを向上させるために設定ファイルを暗号化の場合は、次の操作をします。暗号化する前のファイルは、別の PC にバックアップしておくことを推奨します。

1. オンデマンドプリント端末を起動するユーザーで Windows にログインします。
2. コマンドプロンプトウィンドウを表示します。
3. カレントフォルダーを、{ユーザーデータ保存先フォルダー} 下の次のフォルダーに移動します。
Data¥On Demand Print Terminal¥plugins¥FeliCaPlugin
{ユーザーデータ保存先フォルダー} は、初期設定を変更していない場合は、
「C:¥FUJIFILM¥ApeosWare MS」です。
4. 次のコマンドを実行します。

```
FileEncryptor FeliCaPlugin.Settings.xml
```

「FeliCaPlugin.Settings.xml」が暗号化され、同じフォルダーに「FeliCaPlugin.Settings.dat」ファイルが生成されます。



「FeliCaPlugin」フォルダーに、暗号化された dat 形式の設定ファイルと、暗号化前の xml 形式の設定ファイルがどちらも存在する場合、PaSoRi 接続用の設定ファイルは xml 形式のファイルから設定情報を読み込みます。暗号化された dat 形式の設定ファイルを使用したい場合は、xml 形式の設定ファイルを削除するか、別のフォルダーに移動してください。

3 On Demand Print Terminal の設定

設定の前に

On Demand Print Terminal を利用する前に必要な、ApeosWare Management Suite や機器の定について説明します。

ApeosWare Management Suite の設定をする

機器を登録する

オンデマンドプリント端末と接続する機器を、ApeosWare Management Suite の管理対象として登録します。



参照

『機能ガイド』の「3 機器管理」

ユーザーを登録する

オンデマンドプリント端末を使用してプリントを実行するユーザーを登録します。

アクセスプロファイルを作成して操作権限や利用できる機能を設定し、登録したユーザーに関連づけます。

必要に応じて、システム管理権限、オンデマンドプリント端末の管理権限を持つユーザーも登録します。



参照

『機能ガイド』の「4 ユーザーの管理」

コスト管理を設定する

ユーザーに関連づけるアカウントを作成して、アカウントの残高を設定します。また、料金体系でプリントやスキャンの料金を設定して、アカウントに関連づけます。

課金装置と機器を接続する場合、機器の料金体系を優先的に使用するため、アカウントのプロパティで「機器 / 機器グループよりもこのアカウントの料金体系を優先する」のチェックマークを外してください。さらに機器の料金体系で、プリント、およびコピーに 1 以上の料金を設定してください。



参照

『機能ガイド』の「5 コスト管理」

論理プリンターを設定する

プリントモードが「オンデマンド」、または「オンデマンド - 非課金」の論理プリンターを作成して、オンデマンドプリント端末と接続する機器と関連づけます。

また、オンデマンドプリント端末を使用するユーザーと、作成した論理プリンターを関連づけます。



参照

『機能ガイド』の「7 プリントの管理と操作」

機器を設定する

USB メモリープリント、または USB メモリースキャンを利用する場合は、次のように設定します。

項目	設定
受付 IP アドレス制限	設定している場合は、オンデマンドプリント端末の IP アドレスを受け付けるように設定する
TCP/IP	固定 IP アドレス
SNMP ポート	起動する
LPD ポート	起動する
認証プリントの設定 (対応機種のみ)	次のように設定する ・受信時の P/L 命令制御：[しない] ・出力時の P/L 命令制御：[しない] ・受信制御：[プリンターの認証に従う] (認証が不正のプリントジョブ：[ジョブを中止]、 User ID なしのプリントジョブ：[ジョブを中止]) *1 ・文書の保存期間：[設定しない]
認証と集計	認証しない  補足 ただし、コピー、ファクス、またはスキャンで認証が必要な場合は、[本体認証 / 集計]、かつ、[各機能の集計] で [プリンター] を [しない] に設定します。
スキャンデータの転送先	オンデマンドプリント端末

*1 プリントを直接制御する場合は、[プライベートプリントに保存] または [認証プリントに保存] を選択します。

必要に応じて、スキャンデータを USB メモリーに保存するジョブフローを、機器に登録します。



ジョブフローについては、お使いの機器のマニュアルを参照してください。

On Demand Print Terminal の設定

On Demand Print Terminal を利用するための設定をします。オンデマンドプリント端末のローカル管理者か、ApeosWare Management Suite のシステム管理権限を持つユーザーが実行します。

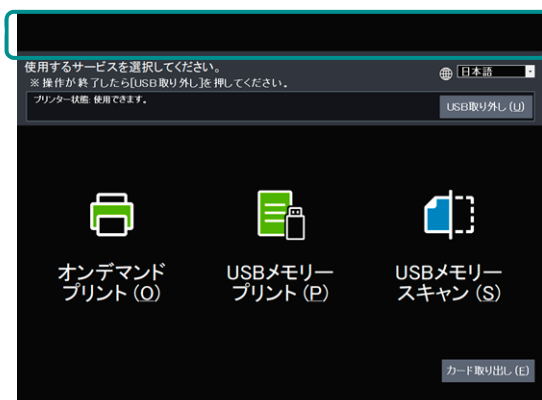


[オンデマンドプリント端末の管理] 権限だけを持つユーザーの場合は、[直接非課金印刷の一時利用] だけを操作できます。

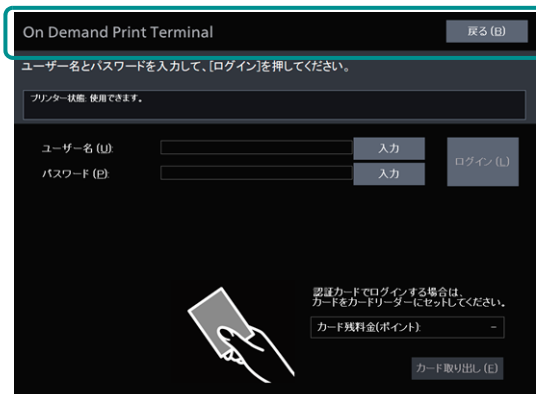
管理者メニュー画面を表示する

1. オンデマンドプリント端末の電源を入れて、起動します。
On Demand Print Terminal が自動で起動します。

2. トップメニュー、またはログイン画面が表示されるので、画面上部をダブルクリックします。



トップメニュー

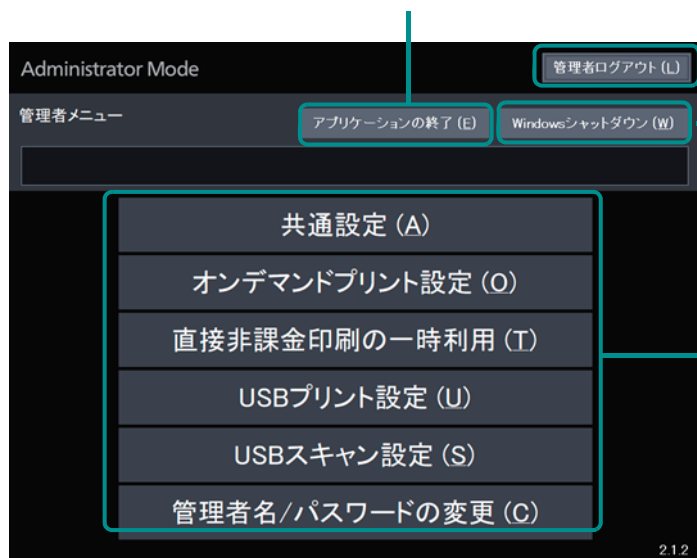


ログイン画面

管理者ログイン画面が表示されます。

3. [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、ログインします。 管理者メニュー画面が表示されます。

On Demand Print Terminal を終了して、
Windows の画面が表示されます。



管理者メニューを終了して、起動直後の画面に
戻ります。

オンデマンドプリント端末の電源を切ります。

管理者メニュー

管理者メニューの設定項目

管理者メニューから表示される各画面の項目について説明します。

[共通設定] メニュー

オンデマンドプリント、USB メモリープリント、USB メモリースキャンで共通の設定です。

[タイムアウト時間]

On Demand Print Terminal から自動でログアウトするまでの時間を、秒数で設定します。



補足

USB メモリーが接続されているときは、安全に取り外せる状態にしてから自動でログアウトします。

- [最終操作後]

最後に操作してから自動ログアウトするまでの秒数を設定します。

- [プリント終了後]

プリントが終了したあと、自動ログアウトするまでの秒数を設定します。

[課金装置あり]

インストール時に課金装置を接続する構成を選択した場合は、チェックマークが付きます。



補足

[課金装置あり] にチェックマークが付いている場合、オンデマンドプリント設定の [印刷中画面を表示して印刷終了まで待機する] にもチェックマークが付きます。

[スクリーンキーボードを表示する]

チェックマークを付けると、On Demand Print Terminal の操作画面にスクリーンキーボードを表示できます。



補足

オンデマンドプリント端末にキーボードが接続されていなくても、スクリーンキーボードを使用することで文字を入力できます。

[オンデマンドプリント設定] メニュー

[接続するメインサーバー]

オンデマンドプリント端末がアクセスする ApeosWare Management Suite サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力します。IP アドレス、またはホスト名のどちらで入力するかは、ApeosWare Management Suite サーバーをインストールするときに指定した形式に従います。ApeosWare Management Suite が分散構成の場合は、メインサーバーの情報を入力します。

共通設定メニューでスクリーンキーボードを表示するように設定している場合は、[入力] をクリックするとスクリーンキーボードが表示されます。

IP アドレス、またはホスト名を入力したら、[取得] をクリックして ApeosWare Management Suite サーバーに接続します。接続に成功すると、ApeosWare Management Suite サーバーに登録されている機器の一覧が取得され、[機器名] に表示されます。



補足

接続するメインサーバーを変更する場合は、IP アドレス、またはホスト名を入力したあとに [決定] をクリックし、On Demand Print Terminal を再起動してください。再起動後に [取得] をクリックして [機器名] を表示します。

[機器名]

ApeosWare Management Suite サーバーに登録されている機器の一覧が表示されます。オンデマンドプリント端末でプリントを指示したい機器を選択します。

[印刷中画面を表示して印刷終了まで待機する]

チェックマークを付けると、オンデマンドプリント端末でプリントを実行したあとプリント処理中は画面が表示されたままになり、次の操作ができなくなります。



補足

[共通設定] の [課金装置あり] にチェックマークが付いている場合は、この項目も必ずチェックマークが付きます。その場合は、設定を変更できません。

【直接非課金印刷の一時利用】メニュー

機器に関連づけられた論理プリンターのプリントモードを、一時的に「直接 - 非課金」に変更します。論理プリンターがプリントモードをスケジュールで切り替えるように設定されている場合に、この機能を設定できます。

たとえば大学などで、授業中は「直接 - 非課金」、それ以外の時間は「オンデマンド」にプリントモードを切り替えて使用している環境で、非課金でプリントできる時間を延長したいときなどに設定します。

【対象の論理プリンター】

システム管理権限を持つユーザー、またはオンデマンドプリント端末のローカル管理者がログインした場合だけ選択できます。

ドロップダウンリストボックスで、プリントモードを一時的に変更する論理プリンターを選択します。

【論理プリンターのモードがオンデマンド印刷でない場合は使用を禁止する】

チェックマークを付けると、プリントモードが直接プリントモードの間は、ユーザーがオンデマンドプリント端末にログインできなくなります。この場合は、利用できないことを通知する画面が表示されます。

【直接非課金印刷の利用時間】

「直接 - 非課金」モードで利用する時間を選択します。

【一時利用を終了】

必要な項目を設定して「決定」をクリックすると、論理プリンターのプリントモードが変更され、「一時利用を終了」が表示されます。

クリックすると、一時的に変更している直接プリントモードが終了して、論理プリンターで設定されているプリントモードに戻ります。

「直接非課金印刷の利用時間」で設定した時間が経過する前に、直接プリントを使う必要がなくなった場合に、使用します。

【USB プリント設定】メニュー

【USB プリントの使用】

USB メモリープリント機能を使用するかどうかを選択します。

「使用する」を選択すると、On Demand Print Terminal 起動後の画面に「USB メモリープリント」が表示されます。

【プリンター構成】

出力先のプリンターの構成を確認、変更できます。「確認 / 変更」をクリックすると、「プリンター構成」画面が表示されます。出力用紙サイズや、給紙トレイの構成など、出力先のプリンターの構成に合わせて変更できます。

【プリント設定の初期値】

プリント設定の初期値を確認、変更できます。「確認 / 変更」をクリックすると、「プリント設定の初期値」画面が表示されます。出力用紙サイズや、両面プリント、N アップなど、USB メモリープリントの初期値を設定できます。

【Microsoft Office で作成した文書を印刷する】

チェックマークを付けると、USB メモリーに保存されている Microsoft Office で作成した文書をプリントできます。



補足

Microsoft Office で作成した文書をプリントする場合は、オンデマンドプリント端末に該当の Microsoft Office 製品をインストールする必要があります。



参照

扱える Microsoft Office 製品 ⇨ 「USB メモリープリント /USB メモリースキャン」 (P.5)

【印刷前にプレビューを表示する】

チェックマークを付けると、プリントを指示したあとにプレビュー画面が表示され、Microsoft Office で作成した文書の内容を確認できます。

【USB スキャン設定】 メニュー

【USB スキャンの使用】

USB メモリースキャン機能を使用するかどうかを選択します。

【使用する】を選択すると、On Demand Print Terminal 起動後の画面に【USB メモリースキャン】が表示されます。

【ユーザー認証の使用】

USB メモリースキャン機能を使用するときに、オンデマンド端末でユーザー認証を行うかどうかを選択します。

【使用する】を選択した場合、On Demand Print Terminal 起動後の画面で【USB メモリースキャン】を選択すると、USB スキャンのログイン画面が表示されます。

【USB メモリーの共有名】

USB メモリーの共有名を入力します。半角の英数字で 12 文字まで入力できます。初期値は「USBScan」です。

【入力】をクリックすると、スクリーンキーボードが表示されます。

【アクセス許可ユーザー】

共有された USB メモリーにアクセスできるユーザーを選択します。オンデマンドプリント端末の Users グループに所属するユーザーアカウントを選択できます。

【管理者名 / パスワードの変更】 メニュー

このメニューは、オンデマンドプリント端末のローカル管理者がログインしたときだけ表示されます。オンデマンドプリント端末のローカル管理者のユーザー名とパスワードを変更できます。



補足

セキュリティ保護のため、運用を開始する前に必ずローカル管理者のパスワードを変更してください。また、定期的にパスワードを変更することをお勧めします。

4 On Demand Print Terminal の操作

On Demand Print Terminal にログインする

オンデマンドプリント端末の電源を入れると、On Demand Print Terminal が自動で起動されます。

USB メモリープリントおよび USB メモリースキャンのどちらも使用しない設定の場合は、オンデマンドプリントのログイン画面が表示されます。

USB メモリープリント、USB メモリースキャンのどちらかでも使用する設定の場合は、トップ画面が表示されます。トップ画面には、[オンデマンドプリント]、および、使用できる機能が表示されます。

使用する機能を選択すると、それぞれの機能の画面に遷移します。認証が必要な場合は、ApeosWare Management Suite のログイン画面が表示されるので、ユーザー管理に登録されているユーザー情報を入力してログインします。

操作が終わったら [ログアウト] または [戻る] をクリックすると、はじめに表示された画面に戻ります。



USB メモリーや、IC カードリーダーの状態によって、表示される項目は異なります。



補足

オンデマンドプリント端末に認証装置が接続されていて、IC カードでログインできるように設定されている場合は、IC カードを使ってログインできます。

課金装置が接続されている場合は、ログイン画面にカードの残料金が表示されます。

各機能の説明

オンデマンドプリント

プリントジョブの一覧画面

オンデマンドプリントにログインすると、ログインユーザーが実行したプリントジョブが ApeosWare Management Suite サーバーから取得されます。

プリントしたいジョブを選択してプリントしたり、不要なジョブを削除したり、ジョブの属性を変更してプリントしたりできます。



ApeosWare Management Suite で承認印刷が適用されている場合、未承認ジョブは、ジョブ一覧に表示されません。



プリントジョブの一覧に表示される主な項目について説明します。課金構成や、ログインユーザーによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
(1) ユーザーの変更	ログインユーザーに委任ユーザー、または代替ユーザーが設定されている場合、ユーザーを変更するボタンが表示されます。クリックすると、ログインユーザーに設定されている委任ユーザー、または代替ユーザーの一覧、および [すべてのユーザー] が表示されます。委任ユーザー、または代替ユーザーを選択すると、選択したユーザーで実行したプリントジョブが表示されます。[すべてのユーザー] を選択すると、ログインユーザー、委任ユーザー、および代替ユーザーのすべてで実行したプリントジョブが表示されます。 63 参照 委任ユーザー、代替ユーザー ⇒ 『機能ガイド』の「4 ユーザーの管理」
(2) アカウントの変更	課金装置がオンデマンドプリント端末とだけ接続されている構成で、ログインユーザーに複数のアカウントが設定されている場合に、プリント処理の料金が課金されるアカウントを変更できます。変更しない場合は、既定のアカウントになります。次の場合は表示されません。 ・ログインユーザーに設定されているアカウントが 1 つだけ ・ログインユーザーが [残高下限到達時の強制停止] が無効なユーザー ・ログインユーザーが委任ユーザー

項目		説明
(3)	プリントジョブの一覧	[ユーザーの変更] の設定に従って、ユーザーが実行したプリントジョブの一覧が表示されます。表示方法は ApeosWare Management Suite のオンデマンドプリント設定に従います。プリントジョブ名、実行日時、プリントの属性、およびプリント処理にかかる予測料金が表示されます。 プリントの属性が赤字で表示されているときは、管理者が設定した推奨値に適合していないことを示しています。*1 表示されるアイコンの意味は次のとおりです。 : プリントできないジョブです。 : 制限付きでプリントできるジョブです。または属性が不正です。  をクリックすると、[ジョブ詳細確認] 画面が表示されます。*2
(4)	詳細設定	一覧に表示するジョブやプリント後のジョブの扱いなどを設定する [詳細設定] 画面が表示されます。
(5)	プリント 白黒プリント	プリントジョブの一覧で選択したジョブのプリントを実行します。 [白黒プリント] は、機器がカラープリント対応機種の場合に表示されます。選択すると、カラーが指定されているプリントジョブでも、白黒でプリントされます。
(6)	カード取出し	IC カードリーダーにセットされているカードを排出します。 課金装置を接続して機器側または端末側で課金する構成の場合は、プリントが終了したあと、カードは自動的に排出されます。  参照 「課金装置の接続構成と課金処理」(P.7)
(7)	料金計	選択したジョブのプリントに必要な料金の予測値が表示されます。 また、ユーザーが利用できる残高が表示されます。 課金構成とアカウントの残高によっては、[残高の内訳] が表示され、アカウントと IC カードの残高の内訳を確認できます。  補足 課金装置が機器とだけ接続されている構成の場合は、予測料金だけが表示されます。

*1 推奨値は、論理プリンターに設定します。詳細は、『機能ガイド』の「7 プリントの管理と操作」を参照してください。

*2 [ジョブ詳細確認] 画面で、プリントジョブの属性を変更できます。また、 や、 が表示されている理由を確認できます。

IC カードの料金の換算

IC カードには、ポイント、度数など、通貨以外の単位で料金を設定できます。ApeosWare Management Suite で扱う料金は、通貨が単位です。

オンデマンドプリント端末と課金装置が接続されている場合、プリントの料金を IC カードで支払うときは、IC カードの料金と ApeosWare Management Suite の料金が、換算レートに従って相互に換算されます。換算レートは、ApeosWare Management Suite サーバーの管理者画面の [システム設定] > [通貨設定] で設定します。

換算方法は次のとおりです。

- IC カードの料金から ApeosWare Management Suite サーバーの料金に換算する場合

料金を換算レートを掛けます。

例: IC カードの料金が 99 ポイント、換算レートが 1.25 (円 / ポイント) の場合

$99 \times 1.25 = 123.75$ 円になります。

- ApeosWare Management Suite サーバーの料金から IC カードの料金に換算する場合

料金を換算レートで割ります。

計算結果の小数点以下は切り捨てられ、整数として扱われます。

例: ApeosWare Management Suite サーバーの料金が 99 円、換算レートが 1.25 (円 / ポイント) の場合

$99 \div 1.25 = 79.2$ 小数点以下は切り捨てられるので、79 円になります。

未払い残高の清算

課金装置をオンデマンドプリント端末とだけ接続する構成では、使用するアカウントの未払い残高を、課金装置にセットされている IC カードで支払うことができます。未払い残高とは、ログインユーザーがまだ支払っていない金額です。

未払い残高がある場合は、プリントを実行すると「未払い残高の引き落とし」画面が表示されます。[はい]をクリックすると、IC カードの残高で未払い残高を支払うことができます。IC カードの残高によって、次のように動作します。

	引き落とし後		
	未払い残高	IC カードの残高	処理
IC カードの残高 > 未払い残高	0	残高あり	プリントに必要な残高があればプリントされます。足りない場合はプリントされません。
IC カードの残高 = 未払い残高	0	0	プリントされません。
IC カードの残高 < 未払い残高	あり	なし	プリントされません。次にプリントを実行したときに、再度「未払い残高の引き落とし」画面が表示されます。



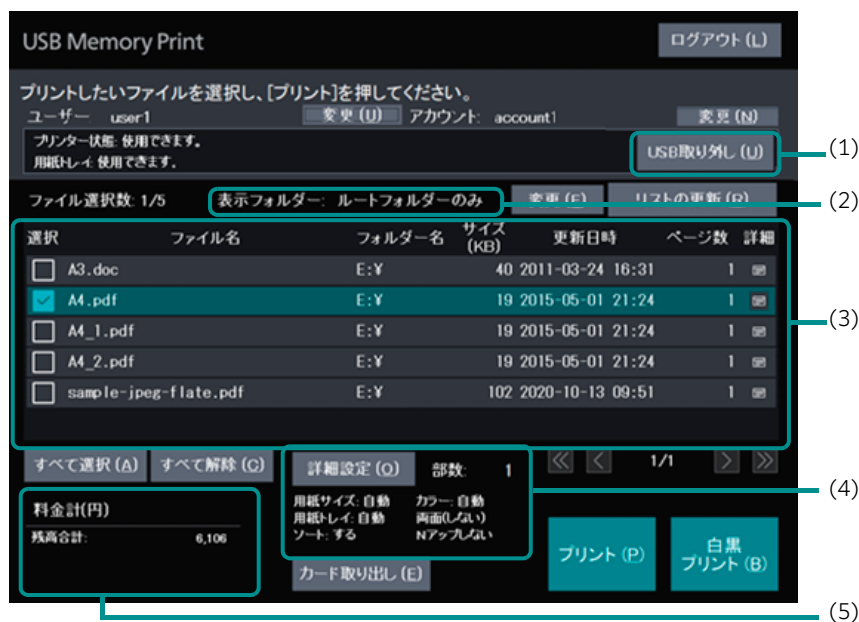
IC カードに設定されている料金が通貨ではない場合、通貨に換算した料金で計算されます。

USB メモリープリント

On Demand Print Terminal で USB メモリープリントを使用するように設定されていて、オンデマンドプリント端末に USB メモリーを接続している場合、トップ画面の「USB メモリープリント」が有効になります。クリックすると、USB メモリープリントのログイン画面が表示されます。

ログインすると、USB メモリーに保存されているファイルの一覧が表示されます。

ファイルを選択して、プリントします。プリントの属性を変更してプリントすることもできます。構成によっては、プリントを実行すると処理の予測料金が表示されます。



USB メモリープリント画面に表示される主な項目について説明します。オンデマンドプリントのジョブ一覧と重複する項目については、「オンデマンドプリント」(P.26) を参照してください。

項目		説明
(1)	USB 取り外し	クリックすると、オンデマンドプリント端末から USB メモリーを安全に取り外せる状態になります。USB メモリーは、このボタンをクリックしてから取り外してください。
(2)	表示フォルダーの変更	リストに表示する USB メモリー内のフォルダーを変更できます。
(3)	ファイルの一覧	USB メモリー内のプリントできるファイルの一覧です。[表示フォルダー] で選択しているフォルダー直下のファイルが表示されます。[すべて] を選択している場合は、サブフォルダー内のファイルも表示されます。  をクリックすると、[ファイル詳細] 画面が表示されます。
(4)	詳細設定	用紙サイズや、カラーモードなど、プリントの属性が表示されます。[詳細設定] をクリックすると、プリントの属性を変更する画面が表示されます。
(5)	料金計	ユーザーが利用できる残高が表示されます。課金装置を使用しない場合はアカウントの残高、オンデマンドプリント端末と機器がそれぞれ課金装置と接続されている場合は、IC カードの残高が表示されます。それ以外の課金構成の場合は、表示されません。



補足

USB メモリーは、[USB 取り外し] をクリックしてから取り外してください。[USB 取り外し] を実行しないで USB メモリーを取り外すと、USB メモリー内のデータが破損する場合があります。

USB メモリースキャン

On Demand Print Terminal で USB メモリースキャンを使用するように設定されていて、オンデマンドプリント端末に USB メモリーを接続している場合、トップ画面の [USB メモリースキャン] が有効になります。クリックすると、USB メモリースキャンの画面が表示されます。

スキャン操作は、機械管理者が機器に登録したジョブフロー、または [スキャナー (PC 保存)] 機能を使用します。

ジョブフローまたは [スキャナー (PC 保存)] で、次のように設定してスキャンを実行します。

項目	設定内容
転送プロトコル	SMB
サーバー	オンデマンドプリント端末のホスト名、または IP アドレス
共有名	管理者メニュー画面で設定した [USB メモリーの共有名]
保存場所	スキャン文書を保存するフォルダー名
ユーザー名	管理者メニュー画面で設定した [アクセス許可ユーザー]
パスワード	[ユーザー名] に対応するパスワード

スキャン実行後、USB メモリースキャンの画面で [リストの更新] をクリックすると、ファイルの一覧にスキャン文書が表示されます。

ApeosWare Management Suite のコスト管理で、スキャン処理に課金するように設定されている場合、ApeosWare Management Suite のユーザーアカウントで機器にログインして実行したスキャンは課金対象となります。



補足

USB メモリーは、[USB 取り外し] をクリックしてから取り外してください。[USB 取り外し] を実行しないで USB メモリーを取り外すと、USB メモリー内のデータが破損する場合があります。

5 注意と制限

注意と制限

On Demand Print Terminal の注意と制限

- オンデマンドプリント端末の OS が Windows 10 で、高速スタートアップを有効にしている場合、シャットダウンしたときとデバイスの構成が異なると、読み込みに失敗することがあります。このため、USB メモリーや、IC カードリーダーをオンデマンドプリント端末に接続する場合は、オンデマンドプリント端末が稼働している状態で接続、または取り外してください。
- 課金装置と機器を接続する場合、機器の認証方式を「外部認証」に設定できません。
課金装置を接続して機器側で課金する構成の場合は、課金装置の用紙単価を定期的に変更することができないため、時間帯割引 / 割増などの機能を使用できません。このため、ApeosWare Management Suite を次のように設定する必要があります。
 - アカウントに関連づける料金体系よりも、機器に関連づける料金体系を優先するように設定します。ApeosWare Management Suite のアカウントのプロパティの設定で、[機器 / 機器グループよりもこのアカウントの料金体系を優先する] のチェックマークを外してください。
 - 機器と課金装置が接続される構成では、プリントの料金は出力面数で課金されます。このため、片面プリントと両面プリントの単価に、同じ値を設定してください。また、換算レートを「1」に設定してください。
- 課金装置と機器、または課金装置とオンデマンドプリント端末を接続する場合、プリントおよびコピーの料金は、課金装置に設定できる料金単価を設定しておく必要があります。
- On Demand Print Terminal の表示言語は、日本語または英語です。オンデマンドプリント端末のシステムロケールに従って表示言語が選択されます。システムロケールが日本語でも英語でもない場合は、英語で表示されます。
- オンデマンドプリント端末にログインすると、On Demand Print Terminal が自動で起動されます。このとき、画面の解像度が「1,024×768」に設定されます。On Demand Print Terminal が起動している間は、この解像度が適用されます。
- オンデマンドプリント端末では、オンデマンドプリント端末のローカル管理者、またはシステム管理権限を持つユーザー以外は、On Demand Print Terminal を終了したり、Windows をシャットダウンしたりできません。権限を持たないユーザーが誤って操作するのを防ぐため、次のショートカットキーが使用できないように設定されています。

使用できない ショートカットキー	機能
< Alt > + < F4 >	ウィンドウを閉じる
< Esc >	現在のタスクをキャンセルする

このほか、Windows のタスクマネージャー、[スタート] メニュー、およびタスク選択ダイアログボックスを表示しないようにする場合は、次のように設定してください。

- オンデマンドプリント端末のスクリーンキーボードを有効にする
- ハードウェアキーボードを使用しない
- マルチタッチ対応のディスプレイで Windows 8.1 を使用する場合は、Windows のスクリーンキーボードを使用しないように設定する
- < Ctrl > + < Alt > + < Del >、< Ctrl > + < Alt > + < Tab >、および Windows キーは使用しないでください

い。

- On Demand Print Terminal では、すべてのユーザーが使える共有アカウントは使用できません。
- [詳細設定] 画面で、プリント後のジョブを削除しないように設定していても、プリント後のジョブ一覧に該当のジョブが表示されないことがあります。この場合は、[リストの更新] を実行してください。
- [ジョブ詳細確認] 画面でプリントジョブの部数を変更しても、内蔵ハードディスクが搭載されていない機器では、1 部で出力されます。
- タスクバーを表示しないように設定していても、タスクバーを自動的に隠す設定にすると、表示されることがあります。タスクバーを表示したくない場合は、タスクバーの [自動的に隠す] をオフにしてください。
- ログインできなくなる場合があるので、オンデマンドプリント端末の OS をアップデート（例：Windows 10 の Fall Creators Update (1709) など）する前に、Windows にビルトイン Administrator 以外のユーザーアカウントを作成して、作成したユーザーアカウントを Administrators グループに登録してください。自動ログオンユーザーを変更する必要はありません。

USB メモリープリント /USB メモリースキャンの注意と制限

USB メモリーについて

- オンデマンドプリント端末に複数の USB メモリーが接続されている場合は、ドライブレターが若い方の USB メモリーが対象になります。
- 暗号化されている USB メモリーは使用できません。
- Windows ReadyBoost 機能は使用できません。
- [USB 取り外し] をクリックすると、オンデマンドプリント端末に接続されているすべての USB デバイスが切断されます。
- NTFS 形式でフォーマットした USB メモリーを使用すると、ファイルの読み込みが遅くなることがあります。
- Windows の自動再生機能が有効な場合、USB メモリーを挿入するとタスクバーが表示されることがあります。タスクバーを表示したくない場合は、Windows の自動再生機能を無効にしてください。
- USB メモリープリントでは、[料金計算方式] を [予測値と実績値の小さい方の値] に設定した場合でも、必ず実績値で課金されます。

USB メモリープリントについて

- 変更履歴やコメント付きの Microsoft Word 文書をプリントする場合、文書の校閲の設定で変更履歴もコメントも表示しないように設定していても、必ず変更履歴、およびコメント付きでプリントされます。この動作は、不注意によって変更履歴やコメントを含む文書が配布されることを防ぐための Microsoft Word の制限によるものです。このため、想定より多いページ数でプリントされることや、意図しないカラー文書としてプリントされることがあります。
変更履歴 / コメントなしの状態でのプリントするには、次のどちらかを実行してください。
 - 変更履歴を反映し、コメントを削除する。
 - Microsoft Word 以外のファイル形式に変換する。
- 白紙ページや白黒ページに見えても、カラーデータが含まれている場合は、カラー文書と判断されます。
- Microsoft Office 文書が、ほかのファイルをリンク参照している場合、リンクを更新しないでプリントされます。リンクを更新したい場合は、あらかじめ手動でリンクを更新してからプリントしてください。
- 八開 / 十六開の用紙サイズは、非定型用紙として扱われます。そのため、出力する用紙サイズを非定型用紙として給紙するように機器側で設定する必要があります。設定されていない場合は、エラーが発生してプリントできません。
- セキュリティーが設定された Microsoft Office 文書は、プリントできません。例外として、書き込みパスワードだけが設定された Microsoft Word 文書、または Microsoft Excel 文書はプリントできます。

- Microsoft Office 文書で、A4 以外の用紙サイズをプリントする場合は、[オプション] の [詳細設定] で、[A4 または 8.5 × 11 インチの用紙サイズに合わせて内容を調整する] のチェックマークを外してください。
- オンデマンドプリント端末にインストールしている Microsoft Excel が 32 ビット版の場合、グラフのオブジェクトがプリントされないことがあります。グラフオブジェクトを使用した Excel 文書をプリントしたい場合は、64 ビット版の Microsoft Excel を使用してください。
- オンデマンドプリント端末と課金装置だけが接続されている構成では、USB メモリープリントに課金できません。
- 「課金装置と機器を接続する構成」または「課金装置を接続して機器側で課金する構成」で、白黒ページを含む原稿を USB メモリープリントする場合、残高が足りていても残高不足でプリントできないことがあります。その場合は、次の対応をしてください。
 - 白黒原稿をプリントする場合は、オンデマンドプリント端末の詳細設定のカラーモードで白黒を指定してプリント指示をするか、[白黒プリント] ボタンからプリント指示をする。
 - 白黒ページを含む原稿をカラーに設定してプリントする場合は、全ページをカラーページとして計算しても十分な残高を用意する。

USB スキャンについて

- スキャンデータの保存には、機器のプッシュスキャン機能を利用します。このため、転送先の宛先、またはジョブテンプレートを、機械管理者が機器に登録しておく必要があります。